

S S T K

第19号



さくら草だより

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会

編集人 社会福祉法人さくら草

〒332-0011 川口市元郷1-10-13

〒336-0015 さいたま市南区太田窪3501-2

電話 048-813-7426 Fax 048-886-6301

電話 048-225-1625

HP <http://www.sakuraso.net/>

E-mail sakuraso@www2.kiy.jp

ニヤリ・ホット大賞!!



-コスモス班-

「今日のみんなの日(さくら草流 利用者自治会)は僕たちでやる。」実際、半信半疑のスタッフ。始まってみれば司会のふたりを中心にみんなの注目が集まります。議題『みんなの日を続けるか。』多数決方式で手を挙げる、できない人は指を差してもらい、できない人はどっちなかで声を出す。「続ける? 続けない?」「る? ない?」「る? る? る?」「る」ね。「次。る?」「わかんないなあ~。」“わかんない”ね。次。る? ~「結果は“続ける”でした! ありがとうございます。」私はそんなみんなと過ごしていて、みんなそれぞれ悩んで結論を出す。みんなの日のおもしろさと可能性を感じます。(野島)



ニヤリ・ホットとは? 人が集まると誕生する 思いやり、友情、仲間。私たちは生活の中で偶然それに出会います。その瞬間『ニヤリ』と笑い、『ホット』するのです。それを伝えたいと思うのが人の常。毎月の職員会議でも共有するニヤリ・ホット。広報誌を読んでくれている皆さまがニヤリ・ホットしていただけたら幸いです。

-みのり班-

天沼さんがコスモスのお茶会に行った時の出来事です。天沼さんと中村さんは22年度に同じ班で過ごしました。中村さんが天沼さんの近くにイスを持ってきてコーヒーを注いでくれました。その後二人で話しをしました。天沼さんも嬉しかったようで帰りに「絆」と話していました。職員が考えている以上に、利用者同士の「心の繋がり」があるのだなと感じられました。



班は変わってしまいましたが、これからも友情が続けばと思います。(小林)

ニヤリ・フォト
[ある日のお昼寝]

-ふたば班-

デイセンターさくら草では、各班で毎年味噌づくりをしています。豆を煮て、潰して、麴・塩を混ぜて...。一緒に愛情を詰めて10ヵ月ねかします。

ふたば班では今年もおいしくできた味噌を袋詰めしていました。計量をしていた加藤さんに職員が「どんな味がする?」と質問。「優しい味がする。」そんな答えが返ってきました。そして、「ふたば仲良しみそ」と名前を付けてくれました。

「ふたばの仲良しみそはいりませんか~?」加藤さんの売り込みのおかげで今年もふたば班の味噌は大好評でした。(小林)



We l come デイセンターさくら草★



伊藤あみさん
コスモス班



今村沙綾さん
コスモス班



大野哲子さん
コスモス班

今年度は8名の方がデイセンターさくら草に入所してくださいました！
デイセンター・コスモスを合わせると72名の仲間になりました。
たくさんの仲間とともに笑顔があふれる日々を過ごして行きたいです。



金子和樹さん
あんず班



川島貴志さん
あんず班



松本広之さん
あんず班



下入佐誠さん
くじら班



後藤楠奈子さん
くじら班

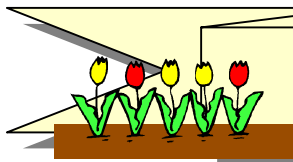
デイセンターさくら草に優しくて素敵な『看板』が設置されました。南陸橋通りから撮った写真です。これからはこの看板を目印にお越しください。



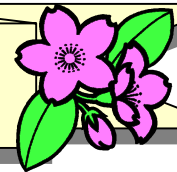
落語家 三遊亭 遊馬 さん来たる！
さくら草が笑いの渦に。みんなが言っていた。
『落語が好きになった！！』笑った！！

< 活動報告 > (2012年 1月 17日~2012年 3月31日)

- | | | | | | |
|-----------|-----------------|-----------|--------------------------|------------|----------------------|
| 1月19日 | 2月22日 | 3月21日 | 半日ツアー | 2月13日~3月2日 | 埼玉県立大学ソーシャルワーク実習受け入れ |
| 1月25日~27日 | 未来くるワーク(南浦和中学) | 2月14日~17日 | 重度・重症児(者)医療・療育講習会(杉山) | | |
| 1月26,27日 | 痰吸引・胃ろうケア研修 | 2月14日 | チョコレートまつり | | |
| 2月1日~3日 | 未来くるワーク(大谷口中学) | 2月18,19日 | 大谷口幼稚園バザー参加 | | |
| 2月1日 | もちまつり | 3月2,5日 | 社会福祉施設等中堅職員フォローアップ研修(山宮) | | |
| 2月4,5日 | サポート研修 | 3月15日 | 三遊亭遊馬さんによる落語会 | | |
| 2月6,7日 | 痰吸引・胃ろうケア研修(佐藤) | 3月28日 | 入所式 | | |
- 健康診断 年2回 ヘアカット(理・美容) 通院介助 体重測定 毎月 誕生会 各誕生月 音楽療法 月1回
アロマセラピー 月1回 みんなのアトリエ 月2回 趣味の日 月1回~ 静的弛緩誘導法訓練会参加 月1回
陶芸 月2回 家族会 月1回 ポラ音楽交流会 さくら草製品せっけん教室・月1回



サポートさくら草



家でも学校でも職場でもない

サポートさくら草は、家でも学校でも職場(通所先)でもないところ。学校も職場も大切。家もちろん大切。でも家と職場の往復だけだと、やっぱりちょっと味気ない?人生に味気をつける、それがサポートさくら草。



人生初の「釣り」に挑戦した藤枝明樹くん。コイがかかった強い引きに、びっくりしながら大きな笑顔。「魚はピチピチしていた」「えさは生臭い」と新しい経験。よし、今日一番の笑顔だな!



毎年恒例いちご狩りに、今年も繰り出す鈴木摩耶くん。いちごに顔を寄せ、甘酸っぱい香りを胸いっぱい吸い込む。「今年も来てくれたんだね、毎年ありがとう」と話しかけてくれる、いちご農園のオーナー。いちごのおじさんは、お母さんも知らない、自分だけの友達なんだ!と、大人な顔つきで誇らしげ。



「岩槻まちかど雛巡り」に出かける配島正宏さん。たくさんの民家にもお邪魔して、どれどれ・・・お雛様を真剣に拝見。アクティブな配島さん。サッカー観戦や映画鑑賞、お祭りも大好き。配島さんと一緒だと、楽しいことがたくさんある。新しく楽しい経験ができるから、みんな配島さんのお出掛けについていくよ!

遊びつかれて自宅へ帰る。「ただいま」と、にっこり。またまた今日一番の笑顔!うん、わかるよ。私も・・・お出掛けは楽しいけれど、自宅へ帰ると「やっぱり家が一番いいや」と思うもの。みんな、また遊ぼう!

サポートゆず

去年11月29日に行われた「平成23年度 埼玉県障害者虐待防止、権利擁護研修」に富田が参加しました。

研修で学んだ事を、2月17日のヘルパー会議でヘルパーさんと一緒に勉強しましたので、その内容を報告致します。

『ほとんどの施設の関係者は、自分の所では虐待はあり得ないや、起きていない、又は他の所で起きている事にして、見過ごしやすいのではないのでしょうか？

どういことが虐待になり、障害のある人の権利を侵害することになるのか。事業者、職員、保護者など障害福祉サービスに関わる全ての人が、改めて理解しておく必要があります。』

勉強会の流れー

職員によるロールプレイ

- ・ケアホームに入居している知的障害のあるAさん役(丸中)
- ・日頃から先輩の高圧的な指導に疑問を持っている新人職員B役(谷田)
- ・新人や若い職員を指導するベテラン職員C役(逸見)

ロールプレイの様子

「早く家に帰りたいAさんですが、ご家族の都合でそれが叶わず落ち込み、食欲をなくしてしまいます。それを見て、B職員がなだめますが、ベテランのC職員が「なめられるな！」と威圧的な態度をB職員に指示します。B職員は不信に思いながらもC職員と同じような威圧的な指示をし、Aに何も手をつけていない食事のトレーを持ち、立っていることを強要します。」

20問の設問に答え自己判断(例；利用者に対して敬語を使わない。等)

富田から平成24年10月1日に施行される障害者虐待法と障害者虐待の定義についての説明。

5班に分かれて のロールプレイを見て振り返り、班ごとに改善すべき点、ゆずでの反省点を話し合い発表しました。

再度自己判断チェック2回目

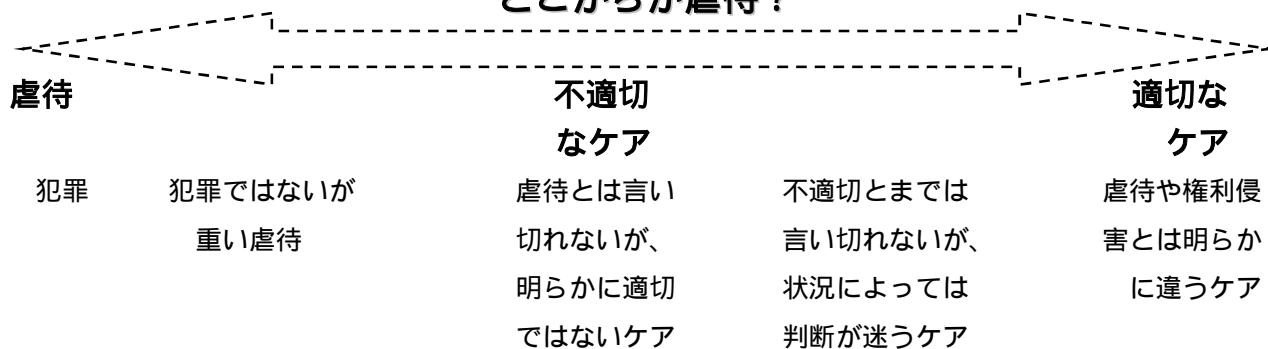
最後に別の「障害者虐待防止チェックリスト」が配られ、再度自己判断をしました。

- 例；
- ・利用者への対応、受け答え、挨拶等は丁寧に行うよう日々、心がけている。
 - ・利用者への説明はわかり易い言葉で丁寧に行い、威圧的な態度、命令口調にならないようにしている。
 - ・利用者の意見、訴えに対し、無視や否定的な態度をとらないようにしている。

約2時間半のヘルパー会議の中で様々な意見があり、今までの自分と向き合う事となりました。

グレーゾーンに迫ろう！！

どこからが虐待？



不適切なケアはグレーゾーン

虐待と適切なケアの境目 グレーゾーン

- ・虐待者が意図的か、非意図的か・・・は問わない
- ・被虐待者に自覚があるか、自覚がないか・・・問わない

グレーゾーンを考える！

グレーゾーンの例 ・ドアが開けばなしのトイレ ・自分で食べられるのに全介助の食事
 グレーゾーンは放置できるか？ グレーゾーンは許されるか？

グレーゾーンは虐待の芽！つまり、広い意味で虐待である！

虐待防止の近道は虐待の芽を摘むこと！

そのために必要なこと

- ・グレーゾーンが発生する要因や背景の理解
 - ・グレーゾーンに向き合う覚悟と、見逃さない感性
- そのためにはグレーゾーンは虐待であるという認識を持つことが大切

研修を終えて・・・

富田 『事務所内では、安全管理を優先、住環境が不十分、人材不足、専門性不足・・・を理由に「そのくらいは仕方ない」「まあいいだろう」と思っていないか？
 それを放置し許すと虐待の早期発見や早期介入ができなくなり、さらに不適切なケアが施設内でどんどんエスカレートしていく可能性がある。虐待が起きる背景をも理解し学び、職員会議、ヘルパー会議等で研修・講習して事務所内全員が共通認識できる様な体制をとってゆくことが今後の課題だと思いました。また、勉強会を通して、2時間半という中で障害者虐待(グレーゾーン)についてお互い共通して、理解し認識するにはまだまだ時間が足りず、再度虐待についてみんなで話し合いの場が設けられると大変良いと思いました。』

勉強会を終えて・・・

洞内 今回の勉強会を通して、自分が今までしていたことが実は虐待だったのか？と思うと、とても勉強不足だったと思いました。自分がしていた介護の多くは、グレーゾーンだったんだと思うと支援方法を考え直さないといけないと思い、これからもっと専門的なことを沢山勉強していかないといけないと思いました。

南区障がい者生活支援センターあみ〜ご

前回のさくら草だよりで、平成23年度上半期のあみ〜ごの相談状況をご紹介しました。今回はもう少しその内容を詳しくみてみたいと思います。



障害別にみると**精神障害**81人と約半数でした。

- 主な病名は
- ・統合失調症 (多くの割合を占めています)
 - ・うつ病 (詳細は下記)
 - ・躁うつ病
 - ・神経症(パニック障害、強迫神経症など)
- etc...



所属は**在宅生活**の方が半数以上でした。たとえば...

- ・月1回の通院以外は外出できず、人とのかわりには家族と支援センターの訪問のみ。最初は支援センターを警戒していたが、半年後にやっと会話の中で笑ってくれた。
- ・作業所に馴染めず退所。以降毎日家族のお金で映画や外食三昧で、家族から怒られると支援センターに相談に来る。
- ・小・中・高校といじめられて不登校。ボランティアを始めたが、人間関係で頼まれると嫌われるのが怖くて断れない。本人の苦手なこと、それにどう対処していくか、支援センターと毎月面談をして気持ちを整理する。
- ・仕事をクビになったことがきっかけで、家で引きこもった生活を10年以上している。家族が親亡き後を心配し、本人との関わりについて支援センターに相談に来ている。
- ・生活保護を受けながら精神科デイケアに通い、支援センターのイベントを楽しみにしている。
- ・家にヘルパーさんに来てもらって、買い物や食事作りを一緒にしている。サービスの内容や時間など調整が必要なときは、支援センターが間に入って整理する。 etc...

相談内容は**福祉サービスに関する支援**が最も多いです。たとえば...

- ・一般就労で上司に言われるがままに無理ばかりして、体調を崩して退職した。人間関係の練習をしたり、自分に合った働き方を見つけたいという希望の方と一緒に、作業所の見学に行きました。
- ・一人では人目が怖くて家から出られない。ごはんは生協のレトルトなどで済ませているが、これまで一緒に通院に来てくれた家族が体調を崩して通院できなくなったという相談。ヘルパー事業所と区役所と調整して、通院介助を利用し通院できるようになりました。 etc...



特に精神障害のある方の地域での支援体制が整っておらず、どうしたらよいかというような相談が多くみられます。そのような悩みを持っている、一人でも多くの方に支援ができればと思います。

こんな障害知っていますか？シリーズ **うつ病**

近年、うつ病とよく聞くようになってきました。うつ病を題材にした映画や本も出ています。うつ病は誰でもかかる可能性があります。心身のエネルギーを低下させ、いろいろな病気の原因になったり、病気を悪化させたりします。心配や過労・ストレスが続いたりするとうつ病にかかりやすいです。うつ病は早期発見、早期治療が大切です。

ここあたりはありますか(°_°)?

悲しい、沈んだ気分になることがよくある
疲れやすく、元気がない

何事にも興味がわかず、楽しくない
朝なかなか起きられない

気になることがあれば、家族や友達に話したり、医療機関に相談してみましよう。



南区障害者生活支援センターあみ〜ごに、ぜひ一度ご相談ください。ご連絡お待ちしております。

電話：048-866-5098

FAX：048-866-5128

(相談受付：平日10:00~17:30)

編集後記

あなたの春はどんな春ですか。わたしの春は花粉の悩みはあるけれど、暖かな空気に元気をもらいます。すべてのひとに幸運を。グッドラック！ 広報 第19号(N)